

令和4年度 秋田県立秋田北高等学校 学校評価

		分掌名(教務部)	記載者 河田好則	
重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育課程の編成とその効果的な実施を図る。 2 教育諸規程の適正な運用を図る。 3 授業改善に取り組み、生徒の学力向上を図る。 			
具体的な計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の進路希望を実現するために、学力の向上を図る教育課程を編成する。 2 成績に関わる指導の適正化と諸表簿の整備を行い、学校全体の教育活動を円滑に進める。 3 学力向上に結び付く効果的な授業の在り方を探究し、併せて定期考査の実施方法と評価の在り方を検討する。また、平成30年度まで指定されていた「探究活動等実践モデル校」を活かし、授業改善を継続していく。 			
具体的な取組状況	前期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程が新しくなり、新1年生から評価基準についても変更することになった。今のところ大きな混乱はないが、学年末でも適切な評価ができるようにサポートしていきたい。 ・中学生体験入学では、今年度も保護者の参加を自粛していただいた。また、昨年同様体験授業をなくし、全体会と部活動見学に絞って行ったが、多くの参加者に対し大きな混乱もなく対応できた。 ・時間割の管理や授業交換等、教務部員の確実な作業により、特に大きな問題もなく学校生活を営めた。 		総合評価
	後期評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程が新しくなり授業の形態も変化しているが、そのことで生徒が考査に向けての学習が行いにくくなっているようである。来年度に向けて各教科と連携を取りながらより良い方法を考えていきたい。 ・生徒の多様化に伴い柔軟な対応が求められているが、現行の内規では、その対応の仕方が難しくなりつつある。そのための対応マニュアルを作成し始めた。 ・前期同様、時間割の管理や授業交換等、教務部員の確実な作業により、特に大きな問題もなく学校生活を営めた。 		B
今年度の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準が来年度以降も継続的なものになっているかの検証。 ・多様な生徒に対し、柔軟に対応するためのマニュアルの作成。 	今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の評価を基に、各教科で検証してもらおう。 ・作成したマニュアルを教務、学年部等で、現状に即しているものか話し合ってもらおう。 	